

～<臨時追加!> 10月28日に中国知識産権局により公開されました審査指南改正案についても解説します。～

## USPTO における特許無効化手続きと、 中国特許無効審判・審決取消訴訟の実務

～米中における特許無効化手続きに関する攻撃・防御方法の全て～

難易度  
中級

新規  
講座

平成28年11月17日(木) 10:00～17:00

講師 河野 英仁 氏 河野特許事務所 所長・弁理士



◆ビジネスのグローバル化に伴い競合他社の特許が日本だけではなく、市場の大きい米国及び中国でも存在し、米中でのビジネスの妨げとなるケースが増加しています。とりわけ、米国で特許訴訟となれば訴訟コスト、損害賠償額が高額となり、また中国を製造販売の拠点としている日本企業にとっては中国特許訴訟で敗訴すれば大きなダメージを負うこととなります。そのため米中で成立した競合他社特許に対する対策は特許実務上必要不可欠なものとなっています。

◆本セミナー前半では、4年前に導入され積極的に活用されているIPRを中心とした特許無効化手続きの実務上のポイントを、事例を交えて説明するとともに規則改正に伴う注意点を解説します。また後半では中国の無効宣告請求手続き及び審決取消訴訟手続きの詳細について解説するとともに、本年3月に公布された司法解釈のうち無効審判請求手続きに関連する改正点について説明致します。

◆無効化手続きは日本、米国及び中国で共通して準備することのできる事項もあれば、全く異なる観点から準備しなくてはならない事項も多数存在します。日米中での無効化手続きに数多く携わっている講師が日本企業の立場から実務上のノウハウも含めて解説します。

### 【講義内容】

#### 【米国】

米国における特許無効化手続き  
競合他社特許が無効との鑑定書が役に立たないケース  
IPR申請書の準備  
IPRの請求人適格  
エキスパートの活用とデklarেশョンの提出  
事例紹介 (非自明性とcommon sense)  
IPR手続き段階における補正の実務  
IPR規則の改正  
最も広い合理的解釈 (BRI) の適用  
デポジションと口頭審理  
日米中で共通する事前対策と、先行技術の相違

#### 【中国】

中国無効審判の手続き  
請求人の決定  
中国無効審判における証拠の取り扱い  
中国無効審判請求書の作成  
発明特許と実用新案特許との戦略の違い  
中国創造性に関する事例紹介  
理由補充と、提出タイミング  
無効審判請求時の補正の実務  
口頭審理の準備と対策  
口頭審理後の補強主張  
無効審判に関する司法解釈  
審決取り消し訴訟の手続きと準備  
証拠交換手続と口頭審理の準備  
判決に対する不服申し立て  
最高人民法院への再審手続き

◇本講座は、米中における特許無効化手続きに関する最新の実務を知りたい方に最適な講座です。

◆日時:平成28年11月17日(木) 10:00～17:00

◆会場:発明会館7階 研修ルーム

◆定員:50名

◆講師:河野 英仁 氏 河野特許事務所 所長・弁理士

◆受講料:会員16,500円・一般19,000円 (※消費税8%込み)

◆申込:FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)